

日本母子看護学会誌投稿規程

1. 投稿資格

投稿者の資格は本会員に限り、共著者もすべて本会員とする。ただし、編集委員会が特に認めた場合はこの限りではない。

2. 掲載論文原稿の種類

本誌は以下の論文を掲載する。ただし、すでに他の出版物(国の内外を問わず)に発表あるいは投稿されていない論文に限る。日本語・英語いずれかの言語で投稿する。

【原著】研究が独創的であり、母子看護の発展に貢献する新しい知見が得られ、それを論理的に示したもの。

【総説】母子看護の特定の主題にかかわる知見を幅広く概説したもの。

【報告】調査や事例から得られたデータをまとめ、母子看護の知見を明確に示したもの。

【その他】編集委員会が依頼もしくは適当と認めたもの。

3. 掲載論文の条件

「日本母子看護学会倫理的基本原則」に基づき、研究対象に対する倫理的配慮がなされ、そのことを論文中に明記すること。倫理委員会等の承認を経て行った場合は、その名称と承認番号を本文中に記載する。ただし、査読者に投稿者が特定されないように、投稿時は所属施設等の名称を明記せず、承認番号のみとし、採択された後、著者校正時に記載する。

電子システム画面上でも、倫理的配慮に関する質問事項に回答すること。

4. 利益相反状態の開示

投稿者（共著者含む）は、投稿時から過去1年以内で論文内容に関係した企業・組織または団体との利益相反（COI）状態について、開示すべき利益相反状態を論文本文末尾等に明記する。開示すべき利益相反状態がない場合は、論文内に、開示すべき利益相反の事項がない旨を記載する。

電子システムでの投稿の際には、利益相反に関する質問事項に回答すること。

5. 著作権

著作権は本学会に帰属し、学会の承諾なしに同一内容の論文を他誌に掲載することを禁ずる。

電子システム画面上でも、著作権の譲渡に関する質問事項に回答すること。

6. 投稿方法

1) 論文の投稿は電子システム「Editorial Manager」で行う。

<https://www.editorialmanager.com/nihonboshikango/>

2) ログイン画面から、ユーザ登録を行う。

3) 電子システムに添って、必要事項を入力する。

4) 本投稿規程にある「10.原稿の執筆要領」に添って作成した原稿と図表ファイル（MS・Word）をアップロードする。

- 5) 著者名や所属機関名、倫理審査委員解明、謝辞については、投稿時にアップロードする原稿には記載せず、著者校正時に記載すること。

7.論文の受付および採否

- 1) 論文の到着日を受付日とする
- 2) 編集委員会のテクニカルチェックを経たのち、論文の査読を行う。
- 3) 論文の採否は、査読を経て編集委員会が決定する。ただし、採用に際し、論文の修正および種類の変更を求めることがある。
- 4) 投稿の締め切りは、毎年 8 月末日とする。

8.著者校正

掲載予定の論文の著者校正は 1 回のみとする。ただし、校正の際は誤植の修正のみにとどめ、加筆は認めない。

9.論文掲載費用

- 1) 論文投稿料の納入

論文投稿料は、下記の口座へ振り込むこと。論文投稿料として 1 論文につき、5,000 円を徴収する。

<振込先> 三菱東京 UFJ 銀行 蒲田支店 普通 2348345 日本母子看護学会
--

- 2)別刷希望者は実費を負担する。
- 3)英文校閲に要した実費は著者に別途請求する。

10.原稿の執筆要領

- 1) 原稿は原則として、標準的なフォント（MS 明朝、MS ゴシック）を用いた MS・Word で作成する。
- 2) 原稿は A4 判横書き、1 ページ 35 字×28 行（約 1,000 字）とし、英文では 1 枚に 30 行（300～360words）とし、適切な行間をあける。
- 3) 投稿原稿は、本文、文献、図表を含めて下記の枚数以内とする。
総 説：12 枚以内(12,000 字以内) 英文 10 枚以内（3000words 以内）
原 著：16 枚以内(16,000 字以内) 英文 13 枚以内（4000words 以内）
報 告：16 枚以内(16,000 字以内) 英文 13 枚以内（4000words 以内）
その他：12 枚以内(12,000 字以内) 英文 10 枚以内（3000words 以内）

ただし、図表のサイズと字数との関係はおよそ次のとおり。

本誌掲載 1 ページ分:約 3,000 字(1000words)

1/2 ページ分:約 1,500 字(500words)

1/3 ページ分:約 1,000 字(400words)

1/4 ページ分:約 750 字(300words)

- 4)図表および写真は、図 1、表 2、写真 1 などの番号を付け、本文とは別に一括し、本文原稿の欄外にそれぞれ挿入位置を朱書きで指定する。写真を掲載する場合は、プリントされた白黒のものとする。
- 5) 投稿するファイルには、校閲機能による変更履歴・コメントを使用しない。

6) 文献記載様式

論文に直接関係のあるものにとどめ、本文中では引用部分の右肩に文献番号¹⁾、²⁾・・・をつけ、本文の最後に一括して引用番号順に記載する。

《雑誌の場合》

- 1) 齋藤益子, 木村好秀:看護者が行う性感染症予防教育. 教育と医学,54(2):156-164, 2006
- 2) 加藤尚美, 金寿子, 大澤みすず他:「子育て・女性健康支援センター」活動の評価(第1報) 活動調査報告より. 助産師, 59(2):26-35, 2005
- 3) Aiken LH: Transformation of the Nursing Workforce. Nursing Outlook, 43(5):201-209, 1995

《単行本の場合》

- 1) 齋藤益子, 西川かおり: もっと知ろうからだのこと 生命の誕生 私たちの命のバトン. インタープレス, 東京, 2006
- 2) 日本助産診断・実践研究会編著: マタニティ診断ガイドブック. 医学書院, 東京, 2004
- 3) Babcock DE, Miller MA: Client Education-Theory and Practice. Mosby-Year Book, St.Louis, 1994

《翻訳本の場合》

Alfaro-Lefevre R: 基本から学ぶ看護過程と看護診断 第3版. 江本愛子監訳, 医学書院, 東京, 1996

7)論文には 800 字程度の要旨を添付する。

原著希望の場合は、800 字程度の和文要旨にくわえ 400words 前後の英文要旨をつける。英文論文の場合も、和文要旨と英文要旨をつける。英文要旨は必ず専門家または英語母国者のチェックを受け証明書を添付する。また、日本語および英語のキーワードを 3～5 語程度つける。

要旨、キーワードは、MS-Word 等で作成し、電子投稿システム画面に直接入力する。英語母国者のチェック証明書については、本文原稿とともに、アップロードする。

要旨は、【目的】(purpose)、【対象と方法】(method)、【結果】(results)、【結論】(conclusion)の項目を立てて記述する。

附則

この規程は、2006年8月5日から施行する。

この規定は、2010年6月26日から施行する。

この規定は、2013年4月1日から施行する。

この規定は、2013年4月1日から施行する。

この規定は、2015年2月1日から施行する。

この規定は、2018年12月7日から施行する。